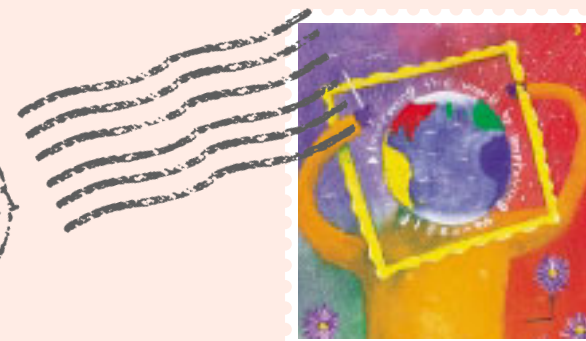


# 住友化学



## 環境・安全レポート 2001

### 住友化学のレスポンシブル・ケア

レスポンシブル・ケアとは、製品の全ライフサイクルにわたって「環境・安全・健康」を確保する、事業者による自主的活動のことです。

世界46カ国(2000年12月現在)で、レスポンシブル・ケアが実施されています。

## 私たちの行動指針

1. 私たちは、住友の事業精神を尊重し、世の中から尊敬される「よき社会人」として行動します。
2. 私たちは、国内外の法令を守り、会社の規則に従って行動します。
3. 私たちは、社会の発展に幅広く貢献する、有用で安全性に配慮した技術や製品を開発、提供します。
4. 私たちは、まず、無事故、無災害、加えて、地球環境の保全を目指し、自主的、積極的な取り組みを行います。
5. 私たちは、公正かつ自由な競争に基づく取引を行います。
6. 私たちは、健康で明るい職場づくりを心がけるとともに、一人ひとりが、それぞれの分野において、高度な技術と知識を持ったプロフェッショナルになるよう、研鑽してまいります。
7. 私たちは、株主、取引先、地域社会の方々など、企業をとりまくさまざまな関係者とのコミュニケーションを積極的に行います。
8. 私たちは、国際社会の一員として、世界各地の文化・慣習を尊重し、その地域の発展に貢献します。
9. 私たちは、以上の行動指針に基づく事業活動を通じ、会社の健全な発展に努めます。



当レポートは、住友化学における2000年度(2000年4月1日～2001年3月31日)の環境安全活動を中心に作成しています。(一部2001年度の活動を含んでいます)

パフォーマンスデータは住友化学の国内全工場(愛媛工場、千葉工場、大阪工場、大分工場、三沢工場)を集計したものです。

## 目次

地球環境との共生に向けて	1	省エネルギーへの取り組み	13
レスポンシブル・ケア：マネジメント	2	二酸化炭素・特定フロン	13
品質、安全、環境に関する経営基本方針	2	廃棄物処理への取り組み	13
住友化学のレスポンシブル・ケア推進体制	3	環境汚染物質排出・移動登録(PRTR)への取り組み	14
レスポンシブル・ケア委員会	3	有害大気汚染自主管理物質の排出削減の年度推移と目標	15
レスポンシブル・ケア関連社内規程	4	大気汚染・水質汚濁防止等への取り組み	16
レスポンシブル・ケア活動方針	4	大気関係	16
レスポンシブル・ケア監査体制	5	水質関係	16
ISO14001の認証取得	6	新たな技術開発への挑戦	17
社員教育	6	国際展開	17
啓発活動	6	住友化学の環境対応：製品・プロセス	18
全社共通研究所による支援体制	7	環境対応型製品群	18
開発から廃棄にいたるまで	8	水浄化・水質保全型製品	18
研究開発から工業化まで	8	農業・緑化関連製品	19
物流	9	身近な環境配慮型製品	20
廃棄	9	リサイクル関連製品	21
化学物質の適正管理	9	サステイナブル・ケミストリー	22
品質保証	10	トピックス	23
品質保証活動方針	10	環境負荷低減プロセスの開発	23
レスポンシブル・ケア：データ	11	環境保全型農業の支援事業	23
環境自主行動計画	11	社会とのコミュニケーション	24
環境会計	11	レスポンシブル・ケア検証	25
環境・安全投資	12	会社概要	25
安全	12	「環境・安全レポート2001」に対する第三者審査報告書	25



## 地球環境との共生に向けて

新しい世紀を迎えて、住友化学は2001～2003年度の中期経営計画を策定しました。この中期経営計画では、「21世紀の当社グループがめざす姿」の実現に向け、三つのビジョンと八つの基本方針を掲げ、住友化学グループの新たな成長軌道をめざしています。

住友化学は、レスポンシブル・ケア活動を経営の重要な柱の一つに位置づけています。中期経営計画の中で、「地球環境との共生」を基本方針の一つとし、レスポンシブル・ケア活動を今まで以上に積極的に進めることにしています。それによって企業としての社会的責任を果たし、社会の皆様からの信頼をいただき、ひいては企業競争力を高めることをめざしています。

具体的には、「品質、安全、環境に関する経営基本方針」に基づき、研究開発、製造、物流、販売など、企業活動のすべての面において、自主的な活動により、省エネルギーや廃棄物削減をはじめとする環境負荷の低減に取り組めます。また、廃棄物や

環境に対するリスクをより少なくするサステイナブルケミストリーへの取り組みを積極的に展開します。

昨今、地球温暖化や化学物質の管理等で、国際的な協調が求められています。私たち住友化学も、地球市民の一人として、人と社会と地球のために、グローバルなレスポンシブル・ケア活動を展開していきます。

本レポートでは、私たちのレスポンシブル・ケア活動の一端をご紹介します。本年度は、環境会計や環境負荷低減への取り組みなどについての記述を今まで以上に充実させるとともに、信頼性・透明性確保のため外部機関の審査を受けています。皆様の率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

社長

米倉弘昌

## 品質、安全、環境に関する経営基本方針

住友化学は、1994年4月、「品質、安全、環境に関する経営基本方針」を制定しました。

この経営基本方針の中で、最優先の取り組み事項として、「顧客重視」、「無事故・無災害」、「原料、中間品、製品の安全性重視」、「製品の全ライフサイクルにわたり、環境負荷の低減に努めること」を決め、全従業員がこれを認識するとともに、法を遵守し、常に改善に努めることを表明しています。



大分工場

2000年6月29日  
(1994年4月1日制定)

### 品質、安全、環境に関する経営基本方針

当社は、住友の事業精神にのっとり、人類生存の基盤を支え、社会の発展に幅広く貢献する製品を開発、生産、供給することを使命とし、創業以来、「顧客重視」、「無事故無災害」、「社会との共存共栄」を経営の基本理念とし活動してきた。

このような理念に基づいて、当社は研究開発、生産、物流、販売など事業活動のあらゆる段階において、品質、安全、環境に関し以下の事項を最優先事項として取り組む。

1. 顧客が満足しかつ安心して使用できる品質の製品とサービスを提供する。
2. 無事故・無災害の操業を続け、従業員と地域社会の安全を確保する。
3. 原料、中間品、製品の安全性を確認し、従業員、物流関係者、顧客、一般消費者などの関係する人々への健康障害を防止する。
4. 製品の開発から廃棄に至るまで製品の全生涯にわたり、環境負荷の評価と低減を行い、環境保護に努める。

全部門、全従業員はこの方針の重要性を認識し、法令および規格を遵守することはもとより、常に改善に努められたい。

住友化学工業株式会社

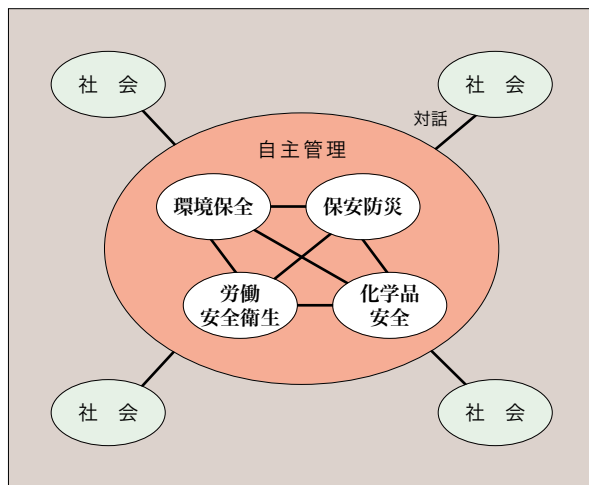
社長 米倉弘昌

# 住友化学のレスポンスブル・ケア推進体制

住友化学は、レスポンスブル・ケア委員会のもとに、レスポンスブル・ケアを総合的、効率的に推進しています。

## レスポンスブル・ケアとは

レスポンスブル・ケアとは、製品の全ライフサイクルにわたって「環境・安全・健康」を確保し、対話を通じて社会からの信頼を深めていく、事業者による自主的活動のことです。活動の内容は、大きく「環境保全」「保安防災」「労働安全衛生」「化学品安全」の4分野に分類されます。



## レスポンスブル・ケア委員会

「レスポンスブル・ケア委員会」は、委員長のもと、社内の4事業部門と医薬事業室を統括する役員、管理部門の統括・担当役員ならびに各工場の工場長で構成し、環境・安全および品質保証に関する基本方針、長期計画の策定や「レスポンスブル・ケア内部監査」を行っています。

さらに、レスポンスブル・ケアのより具体的な実践のため、各工場、各研究所レベルにおいても、それぞれ「レスポンスブル・ケア委員会」を設置しています。

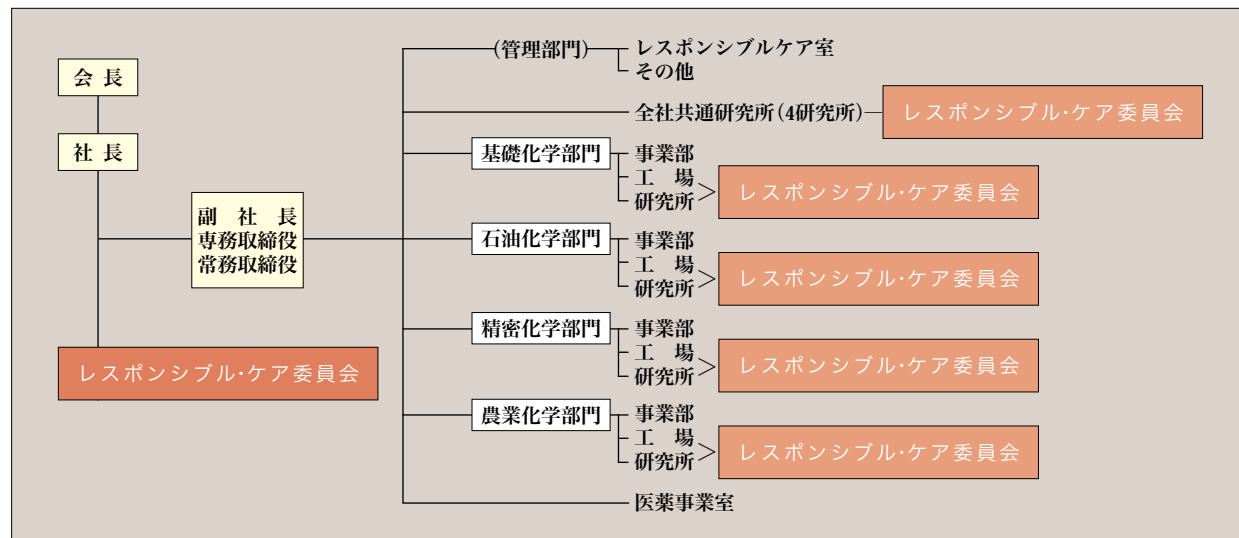
## レスポンスブルケア室

「レスポンスブルケア室」は、環境保全、保安防災、労働安全衛生、化学品安全、製品安全、品質保証ならびに生産技術に関する業務を総合的に所管しています。また、レスポンスブル・ケア委員会事務局の役割も担っています。

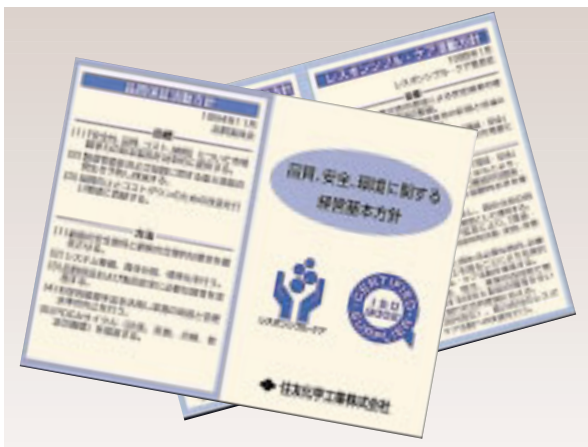


レスポンスブル・ケア委員会

## 組織概要



住友化学では、「品質、安全、環境に関する経営基本方針」をより具体化するため、「レスポンシブル・ケア活動方針」を定め、その目標や実施方針を明確にしています。



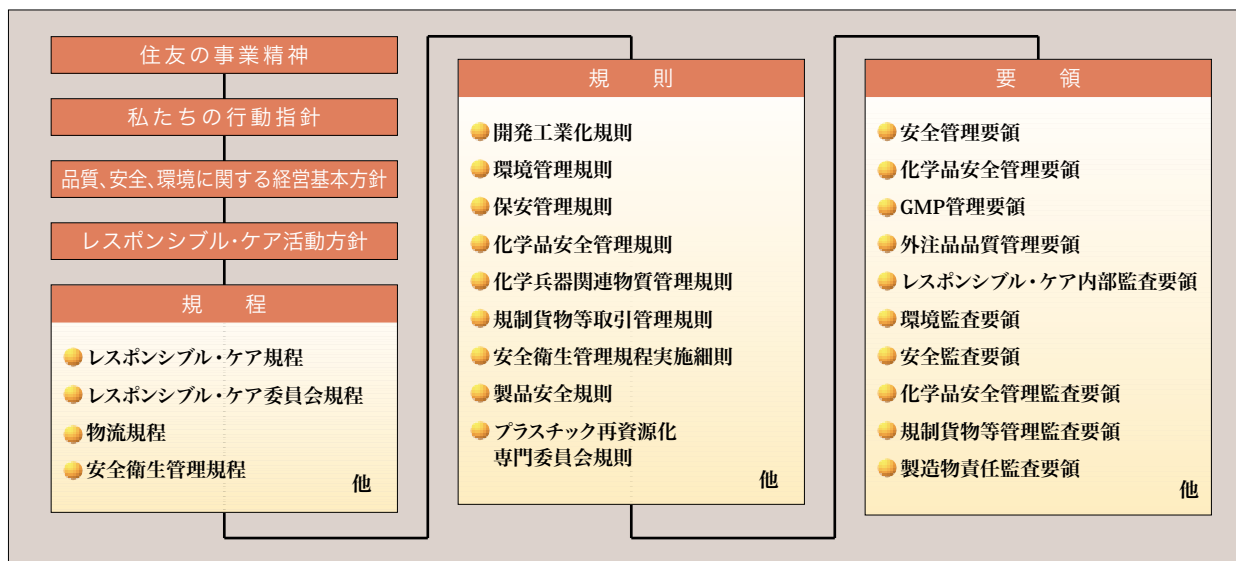
全従業員に配布しているポケットサイズ版

### レスポンシブル・ケア関連社内規程

「品質、安全、環境に関する経営基本方針」ならびに「レスポンシブル・ケア活動方針」を、住友化学の従業員一人ひとりが認識し事業活動に生かすため、これらの方針のポケットサイズ版を全従業員に配布しています。

そのほか、「レスポンシブル・ケア規程」などの規程類、より具体化するための「開発工業化規則」、「環境管理規則」、「保安全管理規則」、「化学品安全管理規則」などの規則類を制定しています。「安全管理要領」やレスポンシブル・ケア監査の具体的な実施方法として「レスポンシブル・ケア内部監査要領」、「環境監査要領」、「安全監査要領」、「化学品安全管理監査要領」などの要領を整備しています。

### レスポンシブル・ケア関連社内規程体系



### レスポンシブル・ケア活動方針

1995年1月制定

レスポンシブル・ケア委員会

#### 目 標

1. 無事故、無災害の達成による安定操業の確保および作業環境の整備。
2. 自主活動に基づく環境負荷の評価と低減につとめ社会との共生を図る。
3. 製品のライフサイクルを通じて「環境・安全」に関する技術の向上につとめ事業の発展に貢献する。

#### 実施項目(方法)

1. 国内外および所属する団体等の「環境・安全」に関する規制を遵守することはもとより、その活動に協力し、自主的かつ継続的な環境・安全管理水準の向上を図り国際的水準を確保する。
2. 組織および諸規定を整備し、責任分担の明確化を図り、常に最新の制度として運用する。
3. レスポンシブル・ケア監査により、「環境・安全」に関する管理の具体的計画、実施、改善および実行を図る。
4. 社員の「環境・安全」に関わる必要な教育、訓練を実施し、意識向上を図ることにより効果的にレスポンシブル・ケア活動を推進する。
5. 研究開発、製造、物流、廃棄の各段階で環境負荷を低減する技術と製品の開発を行い事業の発展を図り社会的要請に応える。
6. 関連会社(海外含む)、協力会社のレスポンシブル・ケア活動への支援を行う。

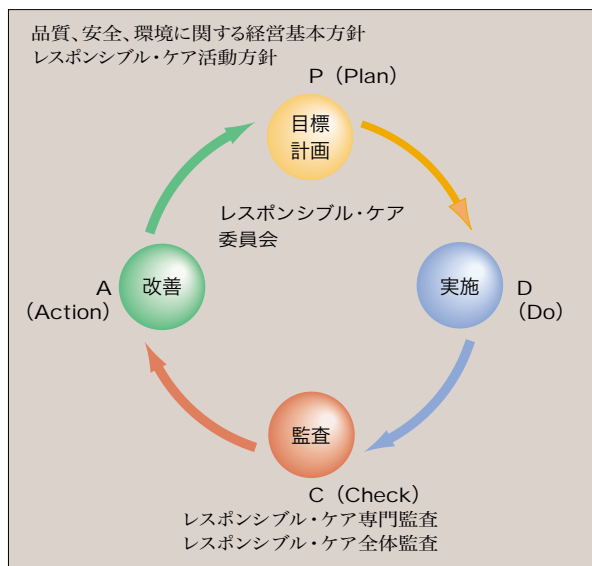
住友化学は、レスポンスブル・ケアの推進のため、従来から実施している「環境・安全」を主体とする社内監査に、「PL（製造物責任）」等の分野を加えるなどの充実を図っています。

グループ会社に対しては、定期開催のグループ会社情報連絡会に加えて、新たに当社の専門家によるグループ会社レスポンスブル・ケア監査を実施しています。

このように、住友化学は、グループ全体のレスポンスブル・ケアの継続的改善を図っています。

住友化学は、総合的環境・安全活動である「レスポンスブル・ケア マネジメントシステム」を確立しており、PDCAサイクルをまわしながら、レスポンスブル・ケアのレベルアップに努めています。

#### レスポンスブル・ケアのPDCAサイクル



#### レスポンスブル・ケア 監査体制

レスポンスブル・ケア監査には、環境、安全、PLの各専門家が行う「専門監査」と、レスポンスブル・ケア委員会の委員を団長とする監査団が経営的視点を加えて行う「全体監査」があり、毎年計画的に実施しています。

「社内レスポンスブル・ケア監査」

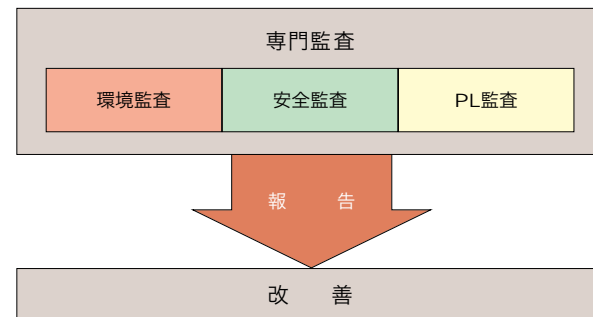
8地区の工場および研究所には「専門監査」と「全体監査」を2段階で行います。

4事業部門、1物流中継所には「専門監査」を行います。

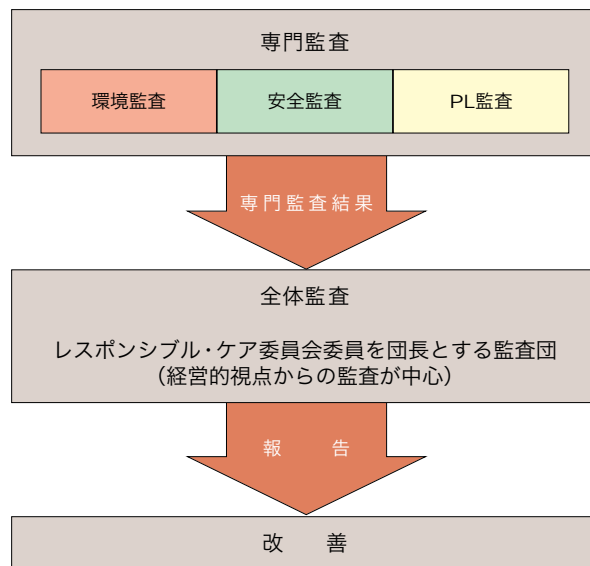
「グループ会社レスポンスブル・ケア監査」

グループ会社のうち、製造業等のレスポンスブル・ケアが重要となる国内外計約45社に「専門監査」を行います。2000年度までに、26社の監査を完了させました。

#### グループ会社レスポンスブル・ケア 監査



#### 社内レスポンスブル・ケア 監査



環境専門監査

## ISO14001の認証取得

住友化学は、「レスポンシブル・ケア」の一部である環境保全活動を、国際標準規格であるISO14001に沿って推進しています。

ISO14001の認証については、1998年度末までに国内全工場(5工場)の取得が完了しています。それ以降、定期審査、更新審査による認証更新等を行っています。

〈工場名ならびに登録証番号〉(取得時期)

愛媛工場：JCQA-E-018 (1998. 4. 13)

千葉工場：KHK-97ER・04 (1997. 6. 26)

大阪工場：JQA-E-90072 (1997. 11. 28)

大分工場：JQA-E-90152 (1998. 3. 31)

三沢工場：JQA-EM0355 (1999. 3. 5)

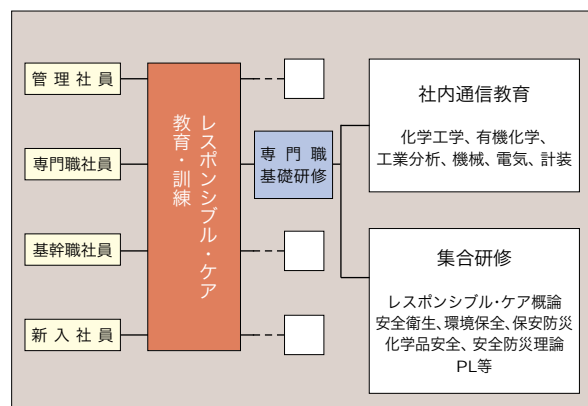


「ISO14001」の登録証

## 社員教育

住友化学は、全社および事業所レベルで、全層、全社員を対象にレスポンシブル・ケアについて徹底した教育・訓練を行っています。とりわけ、製造、物流、販売、購買、研究等、各分野の中核である専門職社員には専門職基礎研修を設け、充実したカリキュラムに基づいて、各種専門知識や技術はもとより、レスポンシブル・ケアについても化学会社のプロフェッショナルとしての専門能力向上を図っています。

## レスポンシブル・ケア 教育・訓練



## 啓発活動

住友化学は、全国安全週間や全国環境月間、全国品質月間等にあわせ、社長をはじめ、工場長、研究所長などから、レスポンシブル・ケアに関するメッセージを伝達しています。

さらに、成績優秀な事業所に社内表彰を行うなど、社員の意識高揚も図っています。2000年度は社内基準に基づき、5工場4研究所に対して、社長安全表彰を実施しました。

また、社内の情報ツールであるイントラネットや社報において、環境安全意識向上のための特集や経営陣からのメッセージを紹介するなど、積極的な啓発活動を行っています。



社報における環境安全意識向上のための特集



レスポンス・ケアの推進には、環境保全、保安防災、労働安全衛生ならびに化学品安全に関する広範な技術データが必要です。

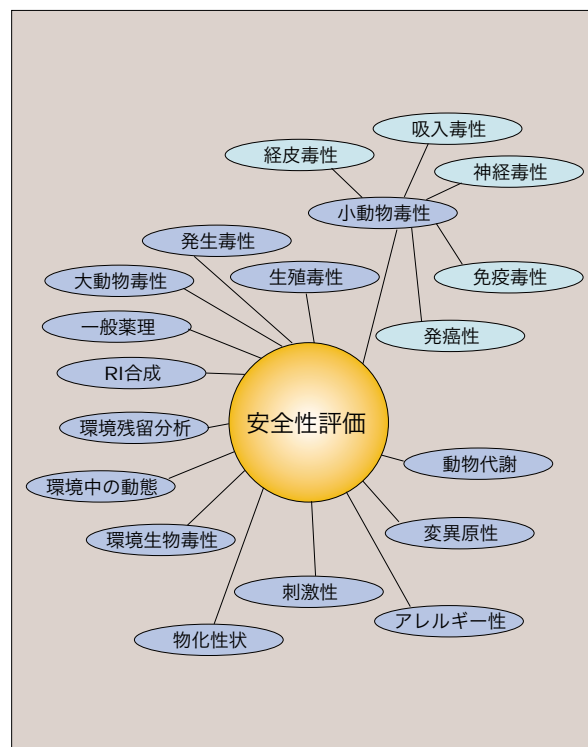
住友化学では、2つの研究所が、「環境・安全」も含めた総合的な技術的バックアップを行っています。



### 全社共通研究所による支援体制

#### 生物環境科学研究所

住友化学は、専門研究員約200名を有するわが国最大級の安全性評価の研究所「生物環境科学研究所」を有しています。「生物環境科学研究所」では、原料、中間体、製品などの「健康」と「環境」に対する影響を、最先端の技術を用いて評価しています。



化学物質の安全性評価にかかわる研究分野

#### 生産技術センター

住友化学の「生産技術センター」では、火災爆発に関する潜在危険の評価、総合的な保安防災技術の開発検討、設備材料全般に関する研究と評価、パイロットプラントを用いたプロセスの安全性の検証などを行っており、「無事故無災害の操業」に大きく貢献しています。

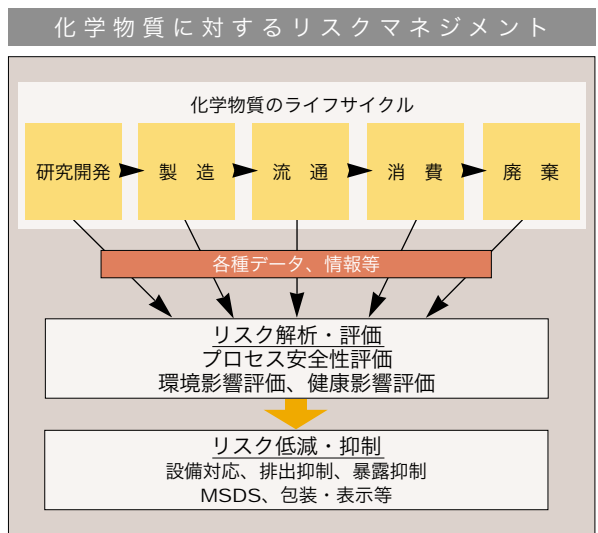


粉じん爆発試験

# 開発から廃棄にいたるまで

レスポンシブル・ケア活動では、化学製品の開発から廃棄にいたるまで、「環境・安全」について配慮し、その対策を実行し、改善を図っていく自主的活動を行っています。

住友化学は、化学企業として、人々の生活に貢献する数多くの化学製品を開発、販売していますが、その開発から廃棄にいたる各段階における環境・安全への配慮を常に念頭においた取り組みを進めています。



## 研究開発から工業化まで

住友化学は、自己責任に基づく自主管理への大きな流れに先駆けて、1994年4月、「品質、安全、環境に関する経営基本方針」を定めるとともに、「安全管理要領」の制定等を通じて開発工業化の各段階での安全性評価を行い、環境への配慮と無事故・無災害の達成に努めてきました。

1997年9月には「開発工業化規則」を制定し、責任体制のよりいっそうの明確化、開発・工業化・商業運転にいたるまでの各段階で実施すべき項目の明確化と各種規程、要領などの整備を行ってきました。

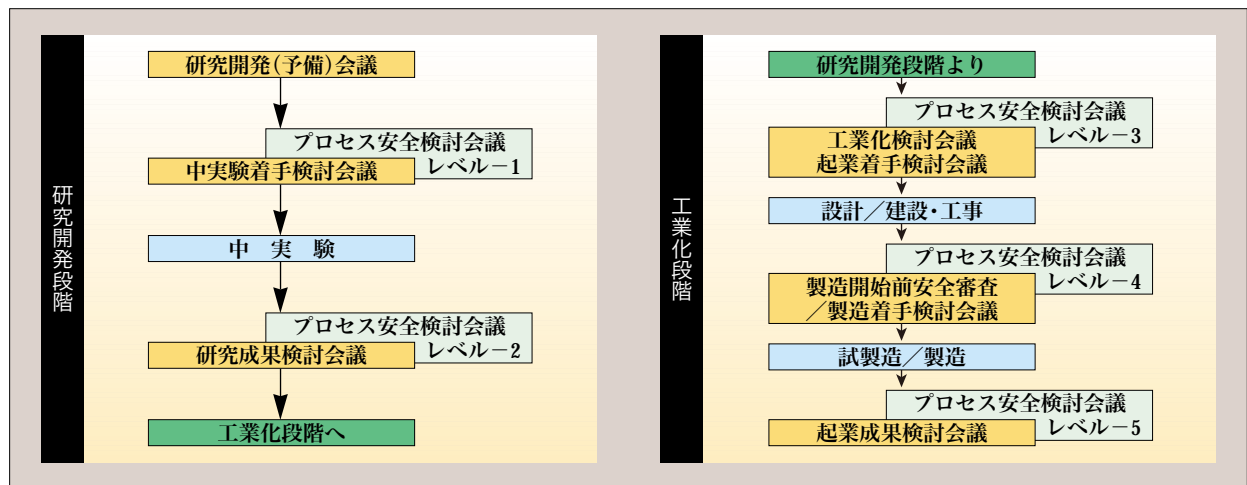
開発工業化段階では、

1. 化学物質に関する各種情報の調査と評価
2. 安全データの取得と評価
3. 設備材料の検討・評価

### 4. 中実験での検証

といったステップを通じ、火災爆発に関する情報、製造・使用・廃棄に関する情報、暴露情報などを収集・整備し、プロセス安全、環境影響、健康影響に関するアセスメントを実施しています。その結果を、設計、製造基準等に反映するとともに関係者へ情報を提供しています。具体的には下図に示すとおり、開発工業化の各段階で安全性が確認されない限り次のステップには進めないシステムとなっています。さらに、2000年度からは各ステップで実施しているプロセス安全検討会議を、4段階から5段階に強化し、リスクアセスメントのさらなる充実を図っています。

## 研究開発から工業化までのアセスメント



## 物 流

住友化学は、化学品輸送の安全対策として、物流会社とともに、物流安全の基準づくり、研修会などの事故防止活動に取り組むとともに、物流会社への製品安全データの提供や「イエローカード」の携行の徹底、「危険性物質輸送取扱時における緊急処置要領」を配布するほか、グループ会社を含めた広域な事故応援体制を確立するなど物流における「環境・安全」の確保に努めています。

また、製品の輸送にあたって、フレキシブル・コンテナの使用、パレットの業界共同利用など、輸送用具、包装材料のリサイクルに努めるほか、一企業の枠を超えた共同輸送の実現により、物流効率化を推進するなど、環境負荷のより少ない輸送システムづくりに邁進しています。



物流における安全確認とイエローカード(右上)

## 廃 棄

住友化学は、3R(リデュース:削減、リユース:再利用、リサイクル:再資源化)の一層の推進に努めています。

また、「プラスチック処理促進協会」をはじめ、業界としての取り組みにも積極的に参画しています。

製造プロセスでの高性能触媒開発等により、製品収率向上を図り、省エネルギー・省資源を進めるとともに製造プロセスから発生する副生物を回収・有効利用して廃棄物の発生をできるだけ少なくするための技術開発に取り組んでいます。

また、リサイクルのために必要な製品開発や、リサイクルしやすい製品の販売・開発にも取り組んでいます。

(18 ページ以下の環境対応型製品をご参照ください)

## PCBの回収、処理

「PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物適正処理推進特別措置法」の成立を受け、住友化学で保有するPCB含有機器(コンデンサー他)からのPCBの回収、処理を適正かつ計画的に進めます。なお、保管中のPCB含有機器は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律(廃掃法)」で規制される特別管理産業廃棄物として、倉庫内に保管場所を定め、適正に管理しています。

## 化学物質の適正管理

住友化学は、「化学品安全評価システム(TASCS)」を通じて化学物質の安全性情報の収集を行い、リスク評価を推進するとともに、そのレベルの向上に努めてきています。

収集・評価されたデータは、化学品安全性データベース「CHEMSAFE2」として集積され、社内におけるスムーズな情報提供に貢献するとともに、化学物質等安全データシート(MSDS)の一部として顧客の皆様への情報提供、地域および職場における安全確保に活用されています。さらに、それらMSDSをデータベース化し、情報提供を一層確実かつ迅速に行う体制を構築しています。

また、化学産業が世界的レベルで自主的に取り組んでいる高生産量化学物質(HPV)の安全性点検への対応では、国際コンソーシアムに参画してデータの取得に積極的に協力しております。

住友化学では、製品の上市にあたって、用途などを加味した安全性を検討し上市の可否を判断してきておりますが、今後も、各種情報の収集・評価を通じて当社の製品(化学物質)の全ライフサイクルにわたる適正管理を推進していきます。

## 品質保証

住友化学は、顧客が満足し、かつ安心して使用できる品質の製品とサービスを提供するために、レスポンシブル・ケア委員会のもと、製品の安全性、品質および納期に関する品質保証活動方針を定めて、全社的、総合的な活動を行っています。

住友化学は、レスポンシブル・ケア活動のもう1つの柱として「品質保証」に取り組んでいます。



「ISO9002」の登録証

〈工場名ならびに登録証番号〉	〈取得時期〉
愛媛工場：JCQA-0019	(1994. 10. 24)
JCQA-0320	(1998. 04. 06)
千葉工場：JQA-0829	(1995. 03. 24)
大阪工場：JQA-0721	(1994. 12. 22)
大分工場：JQA-1069	(1995. 12. 08)
三沢工場：JQA-0752	(1994. 12. 28)

## 品質保証活動方針

1994年11月制定

「品質、安全、環境に関する経営基本方針」を具体的に実施するために、目標と方法を以下のとおり定めて実施する。

### ● 目標

- ①「安全性、品質、コスト、納期」について市場競争力のある製品を効率的に提供する。
- ②製造物責任および品質に関する重大事故の発生を予防し撲滅する。
- ③品質向上とコストダウンのための改善を行い業績に貢献する。

### ● 方法

- ①顧客の安全確保と顧客の合理的な要求を優先させる。
- ②システム整備、責任分担、標準化を行う。
- ③品質保証および製品安全に必要な教育を実施する。
- ④科学的な管理手法を活用し、業務の改善と管理水準の向上を行う。
- ⑤PDCAサイクル(計画、実施、点検、修正の循環)を推進する。

### ISO9002の認証取得

住友化学は、国際品質保証規格である「ISO 9002」の認証を1995年度末までに国内全工場(5工場)で取得が完了しており、それ以降、定期審査、更新審査による認証更新等を行っています。

### レスポンシブルケア室(品質保証)

住友化学は、1994年、「品質保証部(現レスポンシブルケア室)」を設置し、品質管理に関する責任体制を明確化しました。

各工場にも、品質管理担当部署が設けられており、それぞれの工場の原料、中間品、製品の品質管理、製品安全や分析・試験に関する管理を行っています。

## 環境自主行動計画 環境会計

住友化学は1995年の日本レスポンシブル・ケア協議会(JRCC)設立時からのメンバーとして、レスポンシブル・ケアの推進に取り組んでいます。

住友化学は「環境自主行動計画」を策定し、実施した成果を年次報告書にまとめ公表しております。

この「環境自主行動計画」は、住友化学ホームページにも掲載しています。

### 環境自主行動計画

- 省エネルギー  
(目標)年平均1%以上のエネルギー原単位の改善を進める。
- 産業廃棄物削減  
(目標)埋立処分量を2010年までに90年比75%削減する。
- 環境マネジメント  
(目標)各工場の環境方針の達成に向け、チャレンジングな環境アクションプログラムを設定し、環境マネジメントシステムとパフォーマンスの継続的な改善に努める。
- 海外事業活動時の環境保全への取り組み  
(目標)海外事業への展開にあたっては国内と同レベルの省エネルギー技術、環境保全技術の移転に積極的に取り組む。
- 環境負荷の削減  
(目標)NOx、SOx、ばい塵およびCODの排出量削減に取り組み、大気汚染・水環境の保全に努める。
- 有害大気汚染自主管理物質の排出量削減  
(目標)有害大気汚染自主管理物質の排出自主管理計画に沿って削減に取り組む。
  - 第1ステップ期間(1997~1999年)  
1995年比、全体で60%削減(達成)
  - 第2ステップ期間(2001~2003年)  
1999年比、全体で75%削減(目標)

住友化学は、環境保全にかかわる投資・費用と効果を定量的・継続的に把握し、環境投資と効果を評価する「環境会計」を2000年度より導入しました。

### 1. 導入の目的

- (1)環境保全活動を数値的に把握することによる活動の効率化
- (2)長期的な視野による継続的な環境対策の意思決定
- (3)情報開示による企業のさらなる透明性

### 2. 環境会計のポイント

- (1)集計範囲:住友化学単独
- (2)対象期間:2000年度(2000年4月1日~2001年3月31日)
- (3)分類:環境省のガイドラインを参考
- (4)第三者審査:  
第三者機関(朝日監査法人)による審査実施

### 3. 2000年度実績

2000年度の住友化学の環境会計は右の表のとおりで、投資21億円、費用128億円となりました。また、効果については、環境保全活動の結果、確実な根拠に基づいて算出されるものに限定し、リサイクル活動による費用削減効果、省エネルギー、省資源による費用削減によって、合計22億円となりました。

参考:主要連結子会社17社(国内14社、海外3社)を含めた連結ベースでの環境保全コストの実績は、概算で投資約26億円、費用約175億円となりました。

環境保全コスト(億円)			
分類	主な取り組みの内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト		14	86
生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト			
内	環境対策コスト	(6)	(54)
	地球環境保全コスト	(0)	(3)
訳	資源循環コスト	(8)	(29)
	上・下流コスト	0	0
管理活動コスト		0	5
研究開発コスト		7	32
社会活動コスト		0	5
環境損傷コスト		0	0
合計		21	128

経済効果(億円)	
効果の内容	金額
省エネルギーによる費用削減	2
省資源による費用削減	6
リサイクル活動による費用削減	14
合計	22

偶発的な経済効果(リスク回避による経済効果等)および利益寄与の推定効果(見なし効果等)は算出しておりません。

当該期間の投資額の総額	276億円
当該期間の研究開発費の総額	294億円



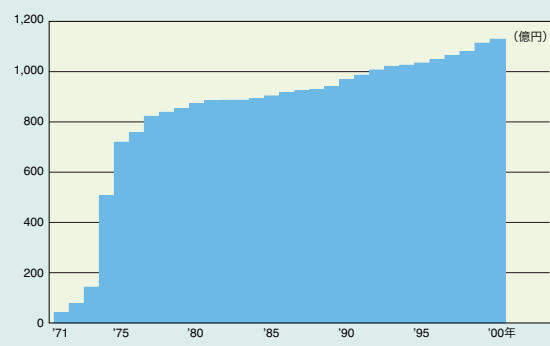
## ● 環境・安全投資

住友化学は、かねてから「無事故・無災害」、「地域との共存共栄」を基本に、環境・安全対策に取り組んできました。

なお、ここでいう環境・安全投資は、環境会計（前ページ）における環境保全コストの投資額とは異なり、合理化・新設・増設等、起業費に含まれた環境・安全対策費用等は含みません。さらに着工ベースで集計されたもので、2000年度では環境関係4億円、安全関係12億円、合計投資額16億円でした。

1971年を基準にした2000年までの環境・安全の累積投資額は1,129億円で、その内訳は環境関係が75%、安全関係が25%になっています。

環境・安全投資累計額（1971年基準）



（注）合理化・新設・増設等、起業費に含まれた環境・安全対策費用は含みません。さらに、環境保全コストのうち、研究開発コストの投資額を含んでいません。

## ● 安全

住友化学は、地域住民の皆様と構内に働くすべての人の安全・健康・安心を確保するために「安全をすべてに優先させる」との基本理念を定め、プラントや設備の事故防止ならびに労働災害防止に取り組んでいます。

具体的には、「安全な製造設備の建設、安全な製造プロセスの構築、そして安全な生産活動の実践」を、「安全管理要領」および各種の「社内安全指針」に基づいて、着実かつ計画的に推進しています。そして、その進捗状況や実績をレスポンシブル・ケア監査等を通じてきめ細かく評価して弛まぬ改善を行い、より高いレベルの安全の確保に努めています。

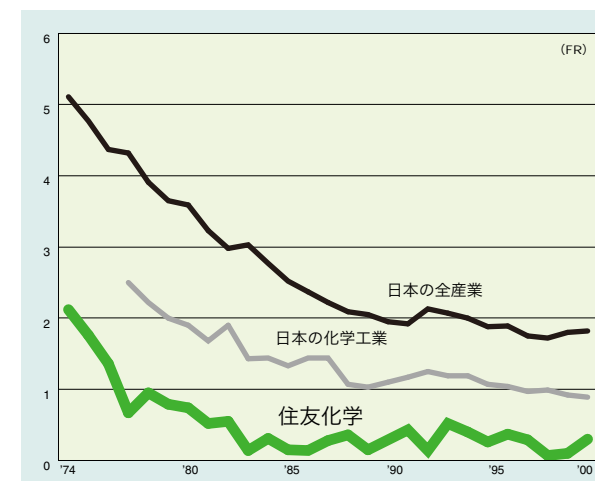
2000年12月、千葉工場の合成ゴム製造設備で火災事故が発生しました。地元の皆様および関係先の皆様に大変ご心配、ご迷惑をおかけしましたが、2001年7月、完全に復旧いたしました。

当該設備以外の設備についても類似事故防止のため、全社を挙げて改善を進めております。



無事故・無災害の達成をめぐして

労働災害度数率の推移



（注）1. 労働災害度数率（FR）＝休業災害被災者数×1,000,000／延労働時間  
2. 休業災害被災者数＝休業1日以上の労働災害被災者数

## 省エネルギーへの取り組み

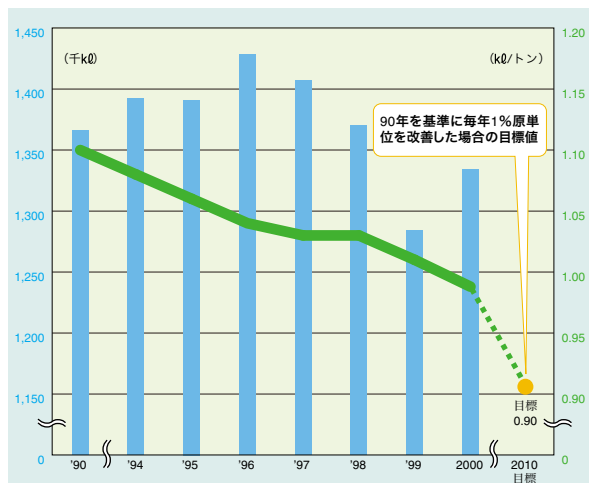
住友化学は、地球温暖化問題に対しても、積極的な取り組みを進めています。省エネルギーの取り組みもそのひとつです。

排出エネルギーの回収強化や機器効率の改善といった地道な活動はもとより、プロセスの抜本的な合理化検討にも注力しています。

省エネルギー目標としては、省エネ法に基づき、年平均1%以上のエネルギー原単位の改善を掲げています。

2000年度においては、対前年度比2.4%のエネルギー原単位の改善を達成しました。

エネルギー使用量とエネルギー原単位



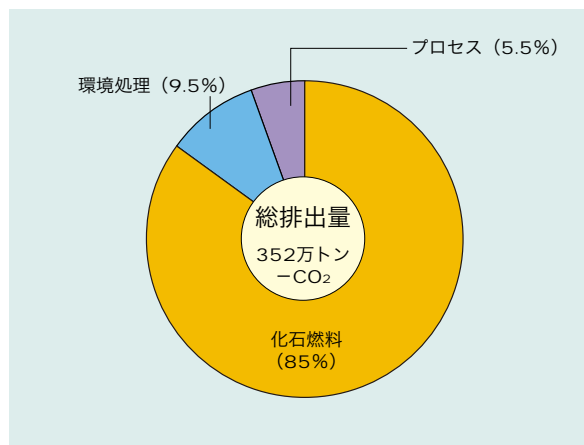
■ エネルギー使用量(原油換算)  
■ エネルギー原単位(原油換算 kJ/エチレン換算トン)

## 二酸化炭素・特定フロン

二酸化炭素排出量

2000年度における二酸化炭素排出総量は352万トン-CO<sub>2</sub>であり、そのうち化石燃料消費(購入電力、蒸気分を含む)が占める割合は85%となっています。

発生源別の二酸化炭素排出割合



特定フロンの管理

地球温暖化、オゾン層破壊の両問題の視点から、トリクロロフルオロメタン(CFC-11)、ジクロロジフルオロメタン(CFC-12)を冷媒として使用する冷凍機の計画的な更新(特定フロン冷媒の使用廃止)の推進に努めています。

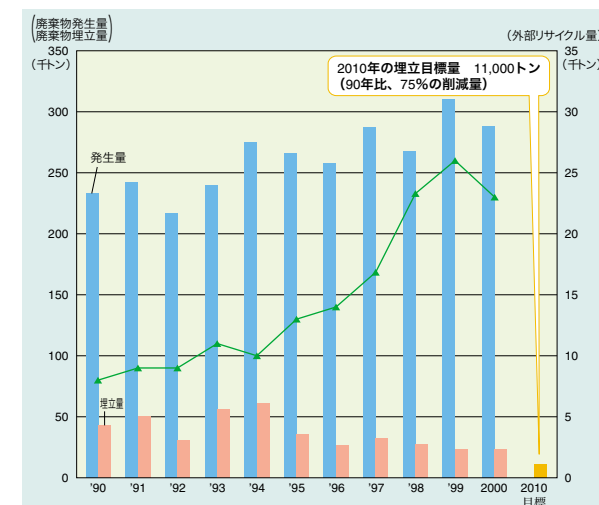
## 廃棄物処理への取り組み

住友化学は、廃棄物問題についても積極的に取り組みを進めています。

新製品、新プロセス開発(もしくは既存プロセス改良)時における環境負荷低減の推進、污泥焼却灰の再資源化ならびに有機汚泥(活性汚泥処理で発生する余剰汚泥)の減溶化などの検討に努めています。

廃棄物削減目標としては、1990年比で2010年までに廃棄物埋立量75%削減を掲げています。

廃棄物発生量と埋立量・外部リサイクル量の推移



▲ 外部リサイクル量(サーマルリサイクルは含まず)  
■ 廃棄物発生量  
■ 廃棄物埋立量(工場内埋立量+外部持ち出し埋立量)

## ● 環境汚染物質排出・移動登録（PRTR）への取り組み

住友化学は、化学物質の開発、製造、使用にあたり、その有用性を生かしつつ、より安全に、そして環境と調和するよう、常に化学物質の排出削減に努めています。住友化学におけるPRTR調査は、(社)日本化学工業協会(日化協)の調査対象物質について1995年度(調査対象年度は1994年)から取り組みを開始していますが、2001年度(調査対象年度は2000年)はPRTR法<sup>1)</sup>第一種指定化学物質(354物質)を含む全480物質について実施いたしました。

その結果、調査対象全480物質のうち、住友化学が製造(使用)している物質数は140であり、総排出量は1,984トン(大気:90%、水域:10%、土壌:0%)、移動量は757トンでした。各種アセスメント情報と排出量を勘案し、対策の優先付け、排出削減目標の設定と削減方法の具体化など、一層の排出抑制に向け、取り組みを強化しています。

また、有害大気汚染物質の優先取組物質(全22物質)の中から当面对策を要する物質として、日化協が自主的に選択し、排出抑制に取り組んでいる自主管理物質(全12物質のうち住友化学は10物質が該当)については、第2期排出削減計画(2001~2003年度)を作成し、その達成に向け諸施策を講じていきます。

1) 特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の促進に関する法律

化学物質の排出・移動量(排出量の多い上位10品目、移動量の多い上位5品目)

化学物質名	排出量 (トン)		内 訳			移動量(トン)	
			大気(トン)	水域(トン)	土壌(トン)		
トルエン	428.2	①	364.2	64.0	—	39.4	④
ヘキサン(*)	217.1	②	216.8	0.3	—	—	
シクロヘキサン(*)	151.0	③	151.0	—	—	—	
ベンゼン	136.9	④	135.0	1.9	—	—	
メチルブチルケトン(*)	111.4	⑤	99.8	11.6	—	23.8	
スチレンモノマー	107.3	⑥	107.3	—	—	—	
酢酸ビニル	96.7	⑦	96.7	—	—	—	
ジクロロメタン	69.0	⑧	68.6	0.4	—	34.5	⑤
アセトン(*)	64.8	⑨	59.5	5.3	—	—	
メタクリル酸メチル	63.5	⑩	63.5	—	—	—	
1,2-ジクロロエタン	12.7		12.3	0.4	—	339.3	①
ジメチルアミン(*)	—		—	—	—	216.5	②
トリエチルアミン(*)	42.5		4.6	37.9	—	56.5	③
上記13物質の小計	1,501.1		1,379.3	121.8	—	686.2	
残り127物質の小計	483.2		403.9	79.3	—	70.7	
全140物質の総計	1,984.3		1,783.2	201.1	—	756.9	

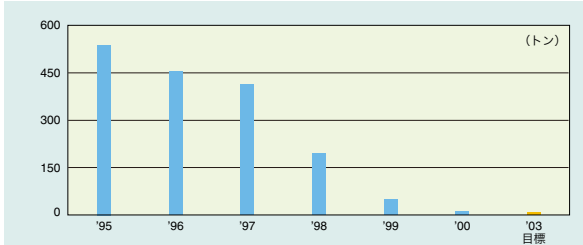
調査対象は取扱量5(トン/年)以上

\* PRTR法での非調査対象物質(日化協調査対象物質)

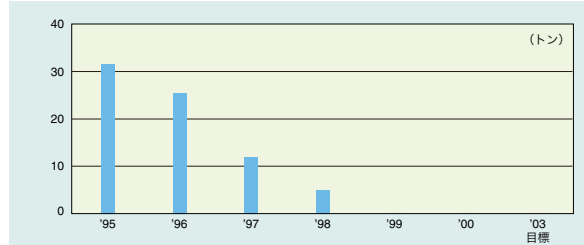


# 有害大気汚染自主管理物質の排出削減の年度推移と目標

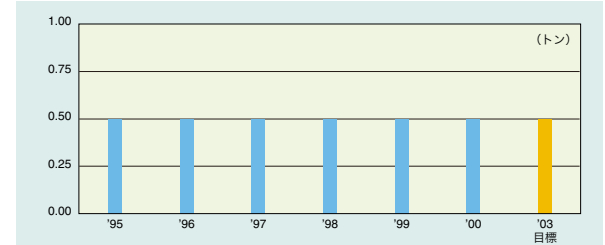
1,2-ジクロロエタン



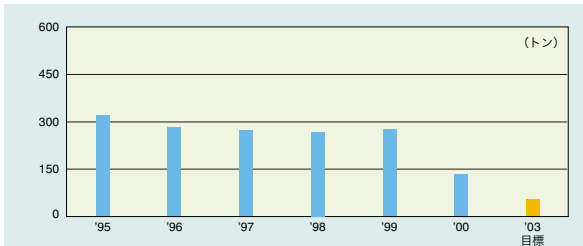
塩化ビニルモノマー



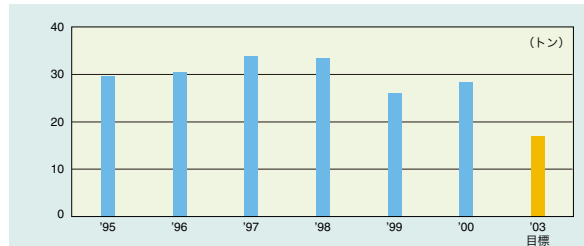
1,3-ブタジエン



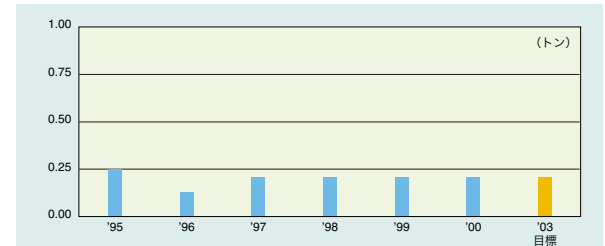
ベンゼン



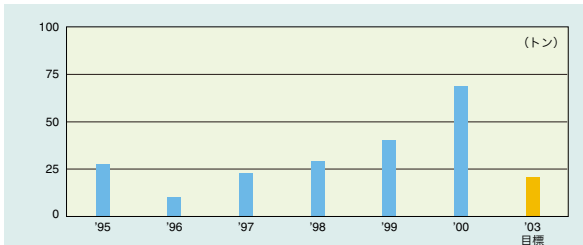
アクリロニトリル



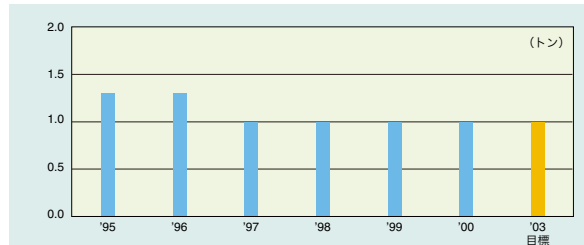
ホルムアルデヒド



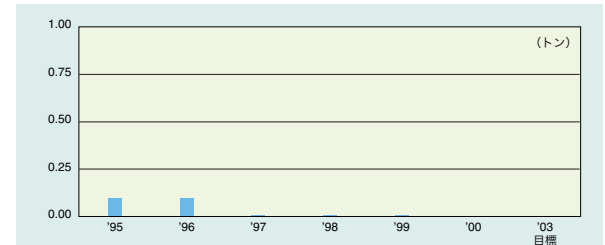
ジクロロメタン



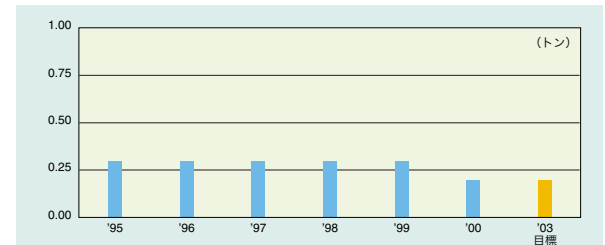
酸化エチレン



クロロホルム



アセトアルデヒド



## 2000年の削減実績

- 1,2-ジクロロエタン：代替物質への切替 (30トン削減)
- ベンゼン：タンクの改造他 (140トン削減)

## 2001～2003年の削減計画

- 1,2-ジクロロエタン：代替物質への切替
- ベンゼン：タンク、プロセスの各排ガス回収
- アクリロニトリル：タンク排ガス回収
- ジクロロメタン：プロセス排ガス回収

# 大気汚染・水質汚濁防止等への取り組み

住友化学は、SOx (硫黄酸化物)、NOx (窒素酸化物)、ばい塵などの大気への排出量削減や、COD (化学的酸素要求量)、窒素、リンなどの水域への排出量削減、さらには水の効率的利用に取り組み、大気環境・水環境の保全に努めています。

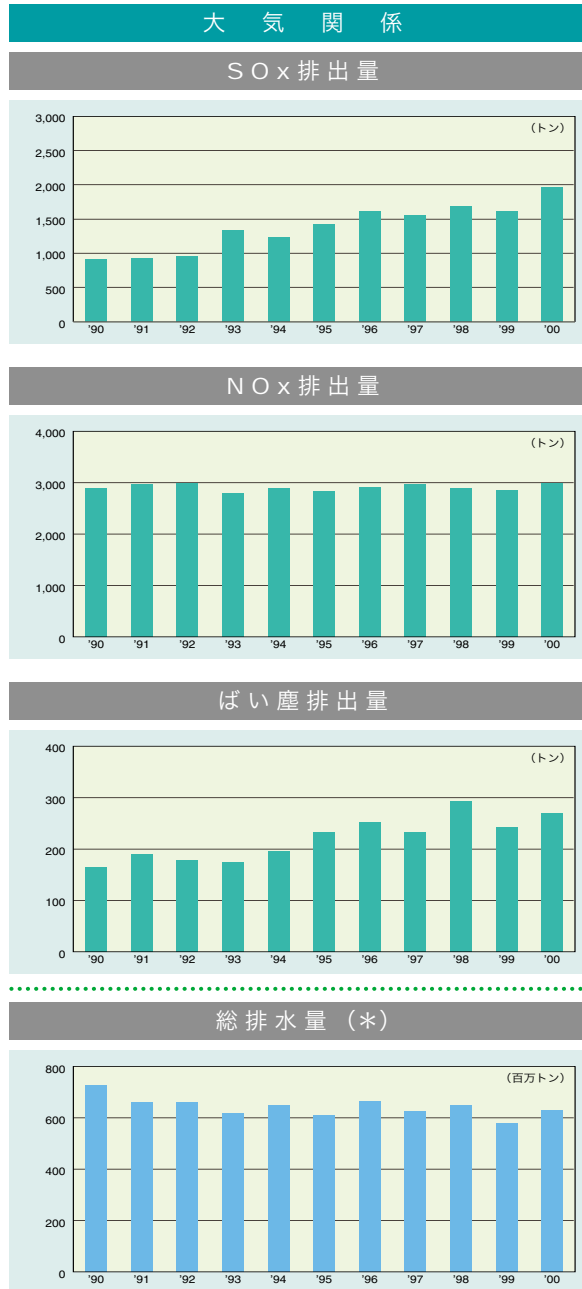
各工場では、各自治体と、法による規制よりも一段と厳しい環境保全に関する協定を締結しています。



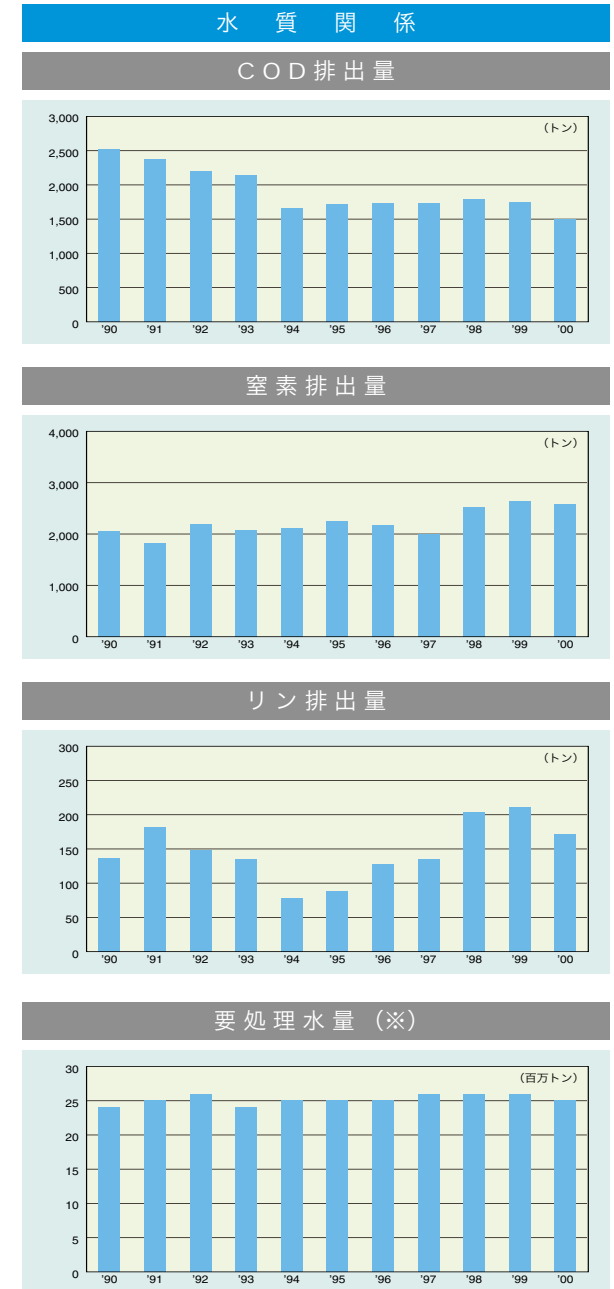
排水処理設備



独自技術による排煙脱硝設備



\* 冷却用海水を含む



※ プラントからの排水で、中和、活性汚泥等の処理がなされるもの

## 国際展開

### 新たな技術開発への挑戦

生産技術センター(愛媛)においては、排水の生物学的窒素処理をより安定的にかつ効果的に実施すべく、硝化菌の高密度培養技術を開発し、アンモニア含有排水と有機性廃液の同時処理技術の実用化に向けた試験を行っています。



硝化菌高密度培養技術のテストプラント

住友化学は、世界全体をフィールドとした事業展開を図っています。

各国における環境基準の遵守はもちろんのこと、国際レベルでレスポンスブル・ケアを推進していく考えです。



シンガポール アクリル酸・MMAプラント

直接酸化法プロセスによるMMAモノマー製造、気相法プロセスによるポリプロピレン製造などの住友化学の技術は、シンガポールでの石油化学事業やアクリル酸、MMA事業をはじめ、北米でのポリプロピレン事業など、海外においても省エネルギー・省資源プロセスとして広く環境に貢献しています。

### ● 海外ネットワーク



インドの農業化学品製造会社エス・シー・エンバイロ・アグロ・インディア社

2000年4月に設立したインドの農業化学品製造会社でも、住友化学の安全管理要領に基づく運転開始前の安全審査を行い、安全を確認した後、操業をスタートしました。

## 環境対応型製品群

### 水～生命の源泉

住友化学は、自社の工場排水の浄化に万全の対策を講ずるだけでなく、高度な技術力を駆使して、水質汚濁防止に役立つ数多くの技術や製品を提供しています。



#### 水 浄 化 ・ 水 質 保 全 型 製 品

##### 水処理剤

###### ■有機系水処理用凝集剤「スミフロック」

濁水、汚水、各種工場排水の凝集沈澱剤として幅広く利用されています。

###### ■無機系水処理剤・硫酸ばんど

上水道、下水道、工場排水などの浄化に使用されます。

###### ■無機系水処理用凝集剤「スミックス」

ポリ塩化アルミニウム「スミックス」は凝集能力が一段とすぐれた製品で、特に5℃以下の水、硬度の高い水、高濁度の水、アルカリ性の水などの浄化にその威力を発揮します。

###### ■無機系水処理用凝集助剤・アルミン酸ソーダ

硫酸ばんどと併用することにより、水の浄化をさらに促進することのできる水処理用凝集助剤です。

###### ■イオン交換樹脂「デュオライト」

大型排水設備のホウ素吸着用樹脂として威力を発揮するES-371Nが好評です。

##### 染料

###### ■環境志向型新製品「スミフィックスHF」染料シリーズ

「スミフィックスHF」染料シリーズは、より少ない無機塩で高い染色力を持つように開発された高固着型新規反応染料であり、染色工場からの排水の着色度、無機塩含有量の削減に大きく寄与します。

###### ■羊毛用反応染料「スミフィックスWF」

従来から羊毛用に使用されている酸性媒染染料、金属錯塩染料は重金属を含むため、安全、環境の両面で問題視されています。そのため重金属を含まない染料として、住友化学の反応染料が採用されています。



水浄化に不可欠な水処理剤



環境にも配慮した各種染料

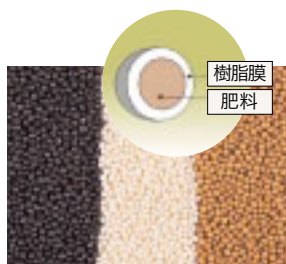
# 緑と大地～

美しい地球のために

豊かな緑と土地に覆われた生命体「地球」。生命の共存共栄のために、住友化学は、農業・緑化関連などで蓄積された技術、製品で大きく貢献しています。



ラノーテープ



環境にやさしい被覆肥料

## 農業・緑化関連製品

### ■農薬および防疫薬

農作物や森林の保護育成には、農薬や肥料などが欠かせません。例えば殺虫剤「スミチオン」は1988年にアフリカを中心に大発生したサバクトビバッタの防除のためにFAO(国連食糧農業機関)から、さらにマラリアを媒介する蚊の駆除のためにWHO(世界保健機関)から効力や安全性を確認されて活躍しています。住友化学の製品開発は、より安全で環境にやさしいということを最優先に取り組んでいます。

また最近では、農薬(化学防除)に加え、天敵(生物的防除)やさまざまな物理的防除等を組み合わせ、農薬の使用量や使用回数を減らそうとするIPM(Integrated Pest Management)という新しい病虫害の防除方法が検討されています。

当社では、IPMに適合した種々の新製品の開発にも注力しています。

### ■オリスターA(生物的防除)

捕食性天敵であるヒメハナカメムシ類は果菜類、花き類の難防除害虫であるアザミウマ類の密度を抑制する目的で、施設栽培で使われてきましたが、生殖休眠の問題から晩秋や早春の日長条件下では、効果が低下する欠点がありました。当社では、タイリクヒメハナカメムシの中から、生殖休眠しにくい系統を選抜し、この欠点を克服したオリスターAの販売を開始しました。

### ■ラノーテープ(新型製剤)

昆虫成長制御剤「ラノー」を有効成分とし、テープ製剤という特殊製剤化技術の開発によって、薬剤を散布せずにコナジラミ類の防除を可能にしました。防除の省力化、長期にわたる防除効果およびIPMへの適合性という特徴を備えています。

### ■コート種子<sup>1)</sup>

コート種子は、大面積の耕地における播種の機械化・省力化に有効な製品です。この特性を生かして、熱帯雨林地域の砂漠化防止に資するため、樹木種子の播種への利用が試みられています。

### ■被覆肥料「SRコート」「スーパーSRコート」

被覆肥料は、肥料を樹脂により被覆したものでコーティング肥料とも呼ばれています。通常の肥料に比べ、施肥の回数や量を大幅に削減させることができるなど、省力や環境に配慮した肥料です。

### ■灌漑システム「スミドリップ」「スミサンスイ」<sup>1)</sup>

「スミドリップ」(灌水ホース)、「スミサンスイ」(スプリンクラー)などの灌漑システム用資材は、乾燥地などの緑化に活用されています。

1)販売:住化農業資材(株)

# 生活～

身のまわり、日々やさしさを

住友化学は、日常生活における環境に配慮した身近な製品も提供しています。



ゴミ袋に活用されるダイオキシン吸着フィルム



分別回収に役立っている「スミボックスパタコン」

## 身近な環境配慮型製品

### ■ダイオキシン吸着フィルム「スリアルパワー」<sup>2)</sup>

ゴミ焼却施設内で発生するダイオキシンなどの有害ガスや重金属を吸着回収できる新しい複合樹脂フィルムを開発しました。

自治体向けとして指定・推奨も受けたゴミ袋として商品化しているほか、当技術は台所用水切りゴミ袋<sup>3)</sup>や機能紙<sup>4)</sup>など、各方面への用途開発が進んでいます。

### ■ガスバリアフィルム「セービックス」

食品の包装に広く使われるガスバリアフィルムは、酸素を遮断して、より長い賞味期間を可能とします。「セービックス」は、処分する時に塩素系ガスが発生しない非塩素系のガスバリアフィルムとして好評を得ています。

### ■エコ壁紙用バインダー「スミカフレックス」

現行品同等のすぐれた性能をもつ環境にやさしい製品として、水性塗料化したコンパウンドが求められています。バインダーに「スミカフレックス」(エチレン系エマルジョン)を使用することで、対応が可能となりました。

### ■折りたたみボックス「スミボックスパタコン」<sup>5)</sup>

軽くて折りたたみ可能なオール・ポリプロピレン製ボックスです。オフィスや家庭で分別回収に役立っており幅広い分野、用途で活用されています。

### ■プラスチック段ボール「サンプライ」・厚物中空構造板

「スミパネル」<sup>5)</sup>

紙・木材に比べ、耐候性、耐水性にすぐれ、軽量であるプラスチック段ボールは、樹脂リサイクルの観点からも需要

が拡大しています。

### ■蓄熱式床暖房「スミターマルシステム」<sup>5)</sup>

蓄熱式床暖房システム「スミターマルシステム」は、深夜の余剰電力を利用して蓄熱し、昼間の暖房を行うシステムで、電力の負荷平準化を可能とします。

また、関西電力(株)と共同で開発した「スミターマルシステム“ルナキット”」は、住宅用途向けとして好評を得ています。

### ■加工性改良型合成ゴム「エスプレンVH-SPO」

低硬度でかつすぐれた加工性を示し、従来は難しいとされていたホース・チューブ類に対しても、環境に配慮した材料として展開が可能となりました。

### ■環境対応型高性能性プラストマー「エクセレンFX」

住友化学の独自技術によるすぐれた特性と高品質を誇る画期的なメタロセン系ポリオレフィン・プラストマー「エクセレンFX」は、従来のオレフィン樹脂に比べ、柔軟性、強度がすぐれ、環境対応型オレフィン樹脂として幅広い分野、用途で活用されています。

### ■スーパーエンブラ「スミカスーパー」「スミカエクセル」

全芳香族ポリエステル「スミカスーパー」およびポリエーテルスルホン「スミカエクセル」は、ダイオキシンの生成が懸念されるハロゲン系難燃剤の添加なしで自己消火性を持ち、最高レベルの難燃性(UL規格V-0)を要求される電気・電子分野を中心に広く用いられています。

2)販売:日本グリーンボックス(株) 4)販売:ザ・バック(株)

3)販売:(株)白元

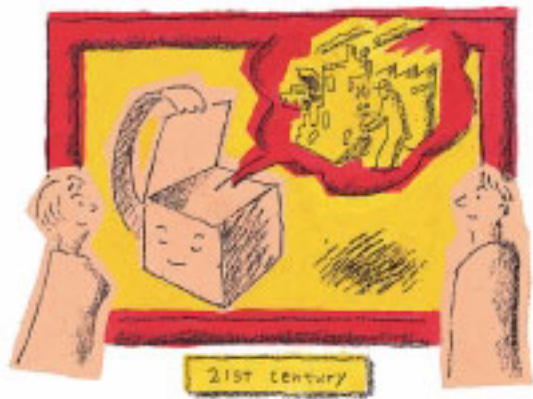
5)販売:住化プラスチック(株)

# リサイクル～

モノを大切に作る心

大量生産、大量消費の時代は終わり、「循環型社会」への方向転換が求められています。

住友化学は、リサイクル社会に技術と製品で貢献しています。



## リサイクル関連製品

### ■プラスチック製型枠「カタワーク」<sup>5)</sup>

南洋材の合板代替のプラスチック製コンクリート型枠です。施工性、経済性にすぐれ、リサイクルも可能な地球環境に配慮した製品です。

### ■熱可塑性エラストマー「住友TPE」

自動車内装材等に、現在需要が急増しているのがポリオレフィン系エラストマー「住友TPE」です。リサイクル性、易焼却処理性の点で、低環境負荷プラスチックとして自動車材料以外の用途においても期待されている商品です。

### ■ポリオレフィン系の農業用フィルム「クリンテート」・

「クリンアルファ」<sup>5)</sup>

使用後は、フィルムを固化物などにして燃料として使用する一方、再生樹脂原料としてのリサイクルも容易な製品です。

### ■リサイクルに有効な成形技術「住友プレスモールド」

表皮材貼合一体成形技術「住友プレスモールド」は、リサイクルのほか、軽量化、脱溶剤化等、環境対応型のプラスチック成形技術として国内外の注目を集めています。

### ■プラスチック相溶化剤「ボンドファースト」

「ボンドファースト」は、ポリマーアロイの製品化に大きく貢献しています。また、PETとポリエチレン(PETボトルのキャップ部分)の相溶化剤として、PETボトルの材料・リサイクルも提案しています。

### ■塗膜除去技術

自動車のバンパー回収品を再利用する技術のひとつとして考えられている、塗膜除去技術を開発しています。

### ■大型成形、発泡可能なMMA樹脂「スミベックスEXTRA」

表面光沢性、耐候性等にすぐれるMMA樹脂は、住友化学の技術により、大型成形、発泡が可能になり、リサイクルを視野に入れた新しい用途展開が期待されています。

### ■紙力増強剤「スミレーズレジン」

紙パルプ用の森林資源の伐採を減らすために、再生紙の利用が進められています。再生紙の紙力増強剤「スミレーズレジン」は、板紙、ライナー、中芯などの再生紙製品の紙力向上に、幅広く使用されています。また、「SPIシリーズ」は、ホルマリンを含まない塗工紙用印刷適性向上剤として、紙製品の本質安全化に貢献しています。

5) 販売：住化プラステック(株)



地球環境保全に寄与するプラスチック製型枠「カタワーク」



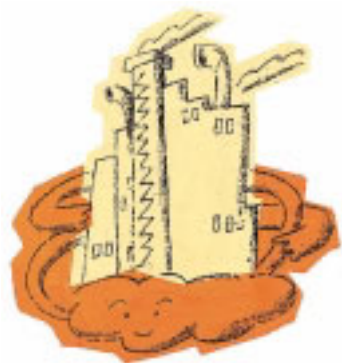
PETボトルのリサイクルに期待される「ボンドファースト」

# 持続可能な化学～

## 環境・エネルギー

最近、「サステイナブル・ケミストリー（「グリーン・ケミストリー」などともいわれる）」という概念が国際的に定着しつつあります。これは、省資源、省エネルギーだけでなく健康や環境に有害な原料、製品、副生物などの使用と発生を減少、あるいは停止させる化学技術のことです。

住友化学は、省エネルギー・省資源プロセスの開発、改良により二酸化炭素排出量を抑制し、地球温暖化問題も含めた対応に努めているほか、大気、水への環境負荷を継続して削減していくため、低環境負荷製造プロセスの開発に鋭意取り組むなど、「サステイナブル・ケミストリー」を積極的に推進しています。



## サステイナブル・ケミストリー



住友化学の開発技術によるレゾルシン製造設備

### 環境負荷低減プロセスの開発

住友化学は、化学工場における排出物の浄化や回収から、さらに一步踏み込んで、有害物を出さない低環境負荷の製造プロセスの開発にも、積極的に取り組んできました。住友化学が独自に開発した環境負荷低減製造プロセスは、枚挙にいとまがありません。

- メタアクリル樹脂原料：MMAモノマー・直接酸化法プロセス  
副生物を低減した省資源製造プロセス
- ゴム用接着剤：レゾルシン・ハイドロパーオキサイド法プロセス  
廃棄物を低減した省資源製造プロセス
- 家庭用防疫薬中間体：水溶媒プロセス  
有機溶媒を使用しないプロセス
- 植物成長調節剤：幾何異性体制御技術・不斉合成プロセス  
ほか



新規プロセスの開発

### 省エネプロセスによる二酸化炭素排出の抑制

住友化学は、イソブチレン、気相法ポリプロピレン、気相法直鎖状低密度ポリエチレンなど、数多くの製造プロセスの開発・改良を行い、省エネルギー、省資源、ひいては二酸化炭素の排出を抑制してきました。さらに最近では、高温高压の化学反応を常温常圧でも可能とするバイオリクターの開発を行っており、家庭用殺虫剤の有効成分の製造プロセスに応用するなど、すでに大きな成果をあげています。

- イソブチレン製造設備
- 気相法ポリプロピレン製造設備
- 気相法直鎖状低密度ポリエチレン製造設備
- バイオリクター  
ほか



環境負荷低減プロセスの開発

■気相法カプロラクタム製造技術

住友化学は、独自触媒の開発により、コンパクトで競争力に富むカプロラクタム(ナイロンの原料)の新製造プロセスの技術確立に成功しました。本技術は、当社の開発した新製法とイタリア大手石油化学メーカーであるエニケム社が開発した新製法との組み合わせにより、従来法では多量に発生する硫酸を一切副生しない環境配慮型の省エネ・省資源プロセスです。

■プロピレンオキシドの画期的な新プロセス

住友化学は、自社開発の高性能新触媒により、併産品が生成されず、コンパクトで競争力に富む省エネ・省資源のプロピレンオキシド(ポリウレタンフォームなどに使用されるポリプロピレングリコールなどの原料)の新製造プロセスを開発しました。



カプロラクタムのパイロット設備

■塩酸酸化技術

住友化学は、独自触媒の開発により、従来にない高効率の塩酸酸化技術を開発しました。

当技術の適用により、塩素を原料とする各種プロセス(イソシアネート、塩ビモノマー、エピクロロヒドリン等)から副生する塩酸を塩素として回収することが可能となり、塩素のリサイクル使用技術として、環境負荷の低減に大いに役立つものとして期待されています。

■粗ガリウム回収技術

住友化学は、電子材料用に需要が増大している高純度ガリウムの世界トップメーカーです。その原料となる粗ガリウムはボーキサイト溶解バイヤー液(通常アルミナのみを回収し、残りは廃棄物処分)から回収されますが、住友化学は有機溶剤を使用しない環境への負荷が少ない粗ガリウム回収技術を有しています。



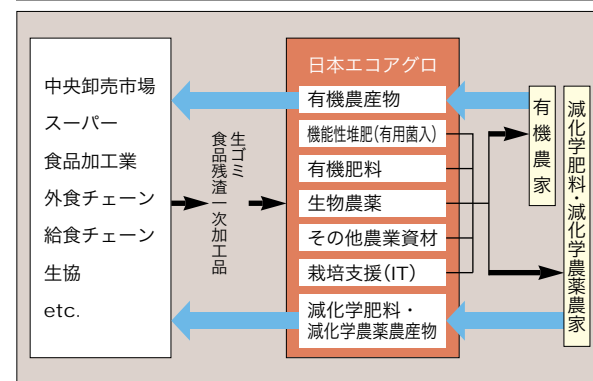
ガリウムを基板材料として使用している携帯電話

環境保全型農業の支援事業

住友化学は、2001年4月、環境保全型農業を支援する日本エコアグロ株式会社を設立しました。

2001年5月に食品リサイクル法が施行され、生ゴミや食品かすの再資源化が課題となる中、新会社は、スーパーや外食チェーンなど、大量に農水産物の残渣を排出する企業や団体と提携し、回収された残渣に有用菌を加えて高機能性堆肥や有機肥料を作ります。これらを有機栽培農家や減化学農業栽培農家に提供するとともに、農産物の販路開拓の希望が強いこれらの農家と、有機農産物や減化学肥料・減化学農業農産物の安定・大量入手先を強く求めるスーパーや外食チェーンなどとの仲介業務も行います。

日本エコアグロの事業概念図



住友化学の各工場では、周辺地域の環境保全に最大限の努力を払っています。

各種環境保全設備を設置し、日夜絶え間ない監視に努めるとともに、万一の事故に対する備えとして化学消防車をはじめとする機器を設置しているなど万全の対策を講じています。

地域とともに発展することが企業の使命であるとの事業精神にのっとり、今後も地域社会の一員として活動・協力していくことが大切と考えています。



主な外部表彰（1997年以降）

受賞内容	事業所	受賞年月日	表彰者
大気環境改善感謝状（低公害車の導入）	大阪工場	1997. 1.28	大阪府知事
関東甲信越地区危険物安全協会連合会表彰	千葉工場	1997. 5.15	千葉県
日化協安全努力賞	農業化学品研究所	1997. 5.26	日本化学工業協会会長
全国危険物安全協会理事長表彰	農業化学品研究所	1997. 6. 9	全国危険物安全協会
水環境保全の推進に関して功績のあった事業所の表彰	三沢工場	1998. 1.30	青森県知事
平成9年度エネルギー管理優良工場	千葉工場	1998. 2.12	関東通商産業局
市原市危険物安全協会創立30周年記念式典 協会会長功労賞	千葉工場	1998. 2.20	千葉県市原市安全協会
大阪労働基準連合会長賞優良賞（労働衛生管理活動）	有機合成研究所	1998.10. 1	大阪労働基準連合会
安全優良賞	農業化学品研究所	1999. 5.26	西宮労働基準協会
高压ガス優良製造所通産大臣表彰	大阪工場	1999.10.29	通産大臣
都市環境協議会感謝状	大阪工場	2000. 3.26	大阪市長
平成12年度千葉労働基準協会連合会長賞	千葉工場	2000. 5.24	千葉労働基準協会会長
日赤金色有功賞（袖ヶ浦地区）銀色有功賞（姉崎地区）	千葉工場	2000.10.18	日本赤十字社
日化協JRCC安全努力賞	三沢工場	2001. 5.23	日本化学工業協会会長

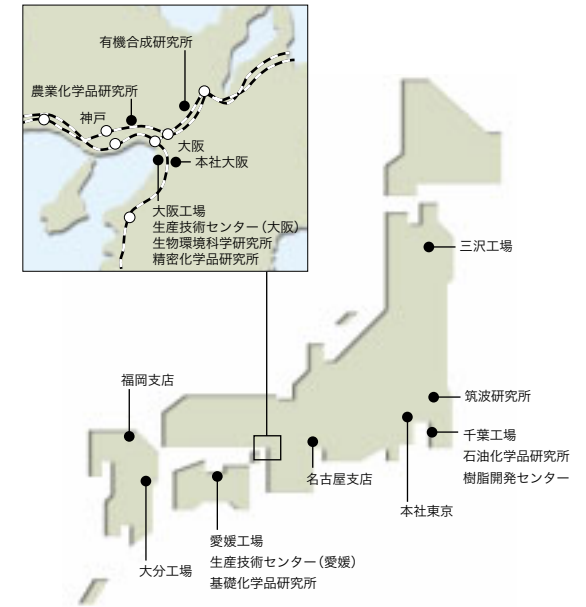
(社)日本化学工業協会 安全表彰(2001年5月)



菅三沢工場長

香西日化協会会長

● 国内事業所



各種認定等の取得状況

認定等の種類	取得事業所
ISO9002	愛媛工場、千葉工場、大阪工場、大分工場、三沢工場
ISO14001	愛媛工場、千葉工場、大阪工場、大分工場、三沢工場
GLP (厚生労働省、農林水産省、経済産業省の基準に適合)	生物環境科学研究所
GMP (厚生労働省の製造許可および品目許可)	愛媛工場、大阪工場、大分工場、三沢工場
米国FDA、英国MCAの査察に合格	大分工場
高压ガス保安法に基づく認定事業所 (経済産業大臣認定) [認定保安検査実施者・認定完成検査実施者]	千葉工場
ボイラー・一圧運転時検査認定事業所 (厚生労働省労働基準監督署長認定)	愛媛工場、千葉工場、大分工場、三沢工場
TPM優秀賞 (日本プラントメンテナンス協会)	愛媛工場、大阪工場、大分工場、三沢工場
OHSMS(労働安全衛生マネジメントシステム)構築 (厚生労働省指針に基づく)	千葉工場

住友化学は、2001年6月に日本レスポンシブル・ケア協議会(JRCC)のレスポンシブル・ケア検証(パイロット検証)を受審しました。今回の検証は、7つの検証コードのうち、①マネジメントシステム ②環境保護 ③保安防災の3つのコードに基づいて行いました。

## 会社概要

住友化学の創業は、1913年にさかのぼります。

当時、愛媛県の別子銅山では、銅を製錬するときに発生する亜硫酸ガスが大きな環境問題となっていました。この問題を解決するために、亜硫酸ガスから過リン酸石灰という肥料の製造を開始しました。これが、住友化学の発祥です。以来、今日にいたるまで、住友化学は時代の要請に応え、品質・安全・環境のさまざまな問題に真摯に取り組み、幅広い事業をグローバルに展開しています。

創業：1913年9月22日

営業開始：1915年10月4日

設立：1925年6月1日

資本金：89,699百万円(2001年3月31日現在)

売上高：6,251億円(2001年3月期)

従業員数：5,409名(2001年3月31日現在)

事業概要：基礎化学品 精密化学品  
石油化学品 農業化学品

### 「環境・安全レポート 2001 住友化学のレスポンシブル・ケア」 に対する第三者審査報告書

平成13年7月31日

住友化学工業株式会社  
代表取締役社長 米倉 弘昌 殿

朝日監査法人  
環境マネジメント部  
代表社員 佐伯 剛



#### 1. 審査の目的及び範囲

当監査法人は、住友化学工業株式会社(以下、会社という。)が作成した「環境・安全レポート 2001 住友化学のレスポンシブル・ケア」(以下、「環境報告書」という)について会社と合意した特定の審査手続を実施した。審査の目的は、「環境報告書」に記載されている環境パフォーマンス指標及び環境会計指標の信頼性並びにその他の記述情報と会社の根拠資料との整合性について、独立した立場から特定の手続を実施し、その結果を報告することである。

なお、本年度が初めての審査であるので、1999年度以前の指標は審査の対象としていない。

当監査法人の実施した審査手続は、監査とは異なるため「環境報告書」に記載されているすべての指標の正確性及び網羅性並びにその他の記述情報について監査意見を表明するものではない。

#### 2. 審査の手続

当監査法人は、会社との合意に基づき次の審査手続を実施した。

- ①「環境報告書」に記載されている環境パフォーマンス指標及び環境会計指標について、作成の基礎となるデータの把握方法及び集計方法の検討
- ②「環境報告書」に記載されている環境パフォーマンス指標及び環境会計指標について、試査の方法による会社の基礎データ及び計算の正確性の検証
- ③「環境報告書」に記載されているその他の記述情報について、作成責任者への質問、事業所の現場視察による状況把握、内部資料及び外部資料との比較検討

#### 3. 審査の結果

当監査法人の実施した審査手続の結果は次のとおりである。

- ①「環境報告書」に記載されている環境パフォーマンス指標及び環境会計指標は、会社の定める方針に従い合理的に把握して集計、開示されたことについて、変更すべき重要な事項は認められなかった。
- ②「環境報告書」に記載されているその他の記述情報は、審査の過程で入手した内部資料及び外部資料と整合させるために、変更すべき重要な事項は認められなかった。

以上

# 住友化学工業株式会社

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号  
東京住友ツインビル（東館）

TEL: (03)5543-5500

FAX: (03)5543-5901

〒541-8550 大阪市中央区北浜4丁目5番33号  
住友ビル

TEL: (06)6220-3211

FAX: (06)6220-3345

<http://www.sumitomo-chem.co.jp>



レスポンシブル・ケア

住友化学は「レスポンシブル・ケア」カンパニーとして、化学物質の開発から廃棄にいたるすべての過程において、自主的に安全・健康・環境面の対策を行っています。レスポンシブル・ケアマークは「日本レスポンシブル・ケア協議会」に加盟している企業が使用できるロゴマークです。



本誌は環境配慮型大豆油インキにより印刷されています。  
本誌はエコマーク認定の100%再生紙を使用しています。



発行：2001年8月  
0108-IB-6000 (△1000)